

足立区の高齢者を見守りあえるまちづくり

開催日時：2019年2月19日（火） 10:00～12:00
 会場：ギャラクシティ 3階多目的室2（足立区栗原1-3-1）
 主催：足立区まちづくり「みまもりたい」
 〈コープみらい・パルシステム東京・東都生協・
 東京ほくと医療生協・東京ふれあい医療生協・東京都生協連〉
 後援：足立区、足立区社会福祉協議会
 参加人数：37名（講師、スタッフ含む）



◇司会◇
一石 健司さん
(東京ふれあい医療生協職員)



◇開会あいさつ◇

水越 雅子さん(パルシステム東京組合員)

可能な限り住み慣れた地域で生活を継続するための地域包括ケアシステムのポイントは地域の力。自治体でも工夫して準備し、事業者や医療関係者や生協も、取り組みを始めています。その現状を知り、私たちも市民として何ができるのか、考えていきましょう。

講演① 「足立区の高齢者の現状を知る」

・足立区の高齢者の現状

高齢化率24.82% 23区中、第2位
 (平成31年1月現在)
 近隣区と比較すると17万人と人数が多い。
 今後5年、人口は68万人で変わらず、75歳以上の後期高齢者が増えていく。

区名	人口	高齢者人口	高齢化率	備考
北区	351,976人	87,760人	24.93%	高齢化率 23区内 第1位
足立区	688,512人	170,890人	24.82%	高齢化率 23区内 第2位
葛飾区	462,591人	113,440人	24.52%	高齢化率 23区内 第3位



足立区福祉部
地域包括ケア推進部
担当係長
田澤 未来さん

・「生活支援サポートサービス」
 平成31年4月からスタート。区の研修を修了すると、雇用の取り扱いで、限定された介護サービス（身体介護なし）を行うことが可能になった。2月、3月に研修を実施。

・孤立ゼロプロジェクト…区独自の政策
 介護保険サービスを利用していない70歳以上の単身者・75歳以上高齢者のみ世帯を町会・自治会と協力して訪問調査（平成24年度～）
 調査世帯数 44,289世帯（54,166人）
 孤立のおそれ 5,365世帯（6,669人）
 →3,843世帯が、地域社会や支援につながった。
 →残り1,522世帯は、孤立の恐れなしの確認済み または地域包括支援センターにて状況確認中
 調査不同意 2,136世帯（2,575人）
 現在、2度目の訪問調査中。
 72団体が自主的に活動を継続中。

・地域（活動）の担い手になるには
 まずは挨拶から。近隣住民の異変に気づいたら地域包括支援センターに連絡する！

一つもあてはまる方がいた場合には、地域包括支援センターにご連絡ください！

外から見た「気づき」

- 郵便物が一斉に届かない、郵便物が置かれている。
- 臭いがする。車の排気管と匂いも異変が感じられる。
- ゴミが散らかっている。ゴミも臭い、洗濯物が出たまま。
- 音が聞かれない。家の音も聞こえない、木が揺れたままになっている。
- 窓が閉まっている。窓の中が暗い、音も聞こえない。
- 電気がつかない。電灯でも電気がついていない。

お会いして分かる「気づき」

- 誰かがおかしな様子がある。
- 誰かがおかしな様子がある。お話を聞いてみる。
- 誰かがおかしな様子がある。お話を聞いてみる。
- 誰かがおかしな様子がある。お話を聞いてみる。
- 誰かがおかしな様子がある。お話を聞いてみる。
- 誰かがおかしな様子がある。お話を聞いてみる。

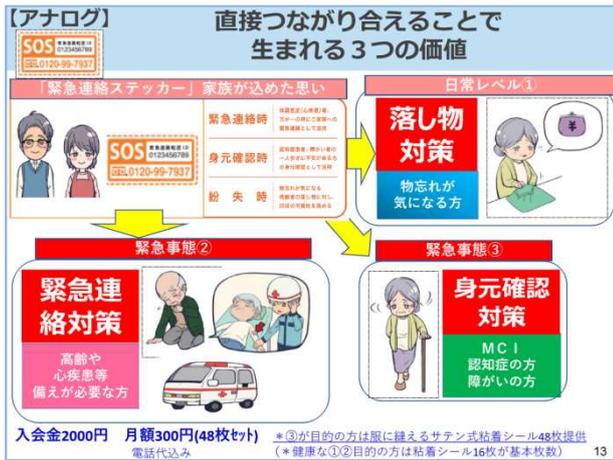
絆のあんしんネットワークとは？
 絆のあんしんネットワークとは、互いに少しずつ「ちから」を出し合い、いくつになっても笑顔があふれる「お互いさまのまち」を築いていく活動です。

講演② 「みまもりあいプロジェクト」



社団法人
セーフティネットリンケージ
高原 達也 さん

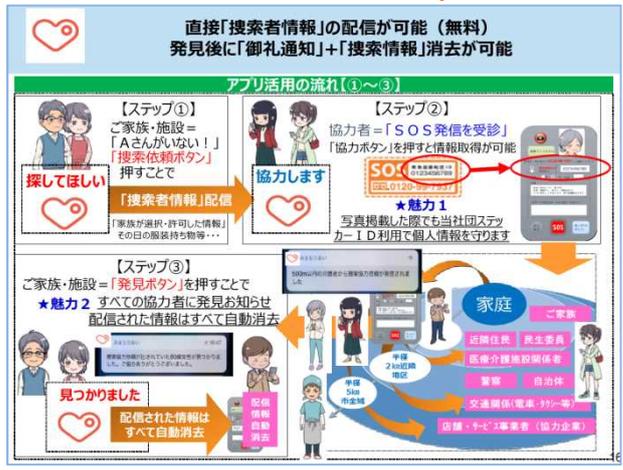
・日本人の「互助」を軸にした「見守り合える街づくり」
日本には、落とし物が交番を経由して持ち主に戻る、頼まれれば助けたいと思っている人が72%いるなど互助のインフラがあります。そこで特許技術を使って、個人情報保護した状態で発見者と家族が直接対話できる、安くて誰もが使える2つの支援ツールを考えました。一つ目は万が一に備える「緊急連絡ステッカー」、二つ目はみんなで探す力を持つ「搜索支援アプリ」。2つのツールを組み合わせ、見守り合える街づくりを目指します。



ステッカーの強み
48枚セット+外出中の緊急時に家族に直接連絡が可能
▲早期発見は弱い
○身元不明防止

アプリの強み
瞬時に搜索依頼+顔写真+ご近所の力で早期発見連絡
◎早期対応
▲時間と距離の経過で搜索力が弱まる

・広げる取り組み「見守り訓練」
お祭りなどで、アプリを利用して実際に人を探す「かくれんぼ企画」が2018年度全国70か所以上で開催され、約1万人が参加しました。多世代による見守り訓練を無料で実現できます。開催方法は <http://mimamoriai.net/>にてご確認ください。



感想交流

- 6 グループに分かれて、感想やこれからやってみたい活動について意見交流しました。グループ発表より
- ・ステッカーを家族に紹介して、将来必要になったら貼ってもらいたい。
 - ・オレンジリングを持っていても、声掛けに躊躇する。アプリは使いやすいと思った。
 - ・ポケモンをやっている人にも、みまもりアプリをダウンロードしてもらいたい。お祭りに参加してみたい。
 - ・地域の力が低下して祭りがなくなってきている。かくれんぼ企画が祭りの復活のツールになると思った。



アンケートより
・足立区の高齢者が4人に一人で高齢化率2位というのに驚きました。
・みまもりあいは素晴らしいシステムだと思います。ぜひ足立区も取り入れてほしいと思います
・見守る家族の登録が増えるといい。
・ぜひ地域のお祭りでもやってみたいと思いました。
・気軽に声掛けができるように、まずは挨拶からしていきたい。

